



レクチャーコンサート

「スペイン美術と巡るオルガン音楽 —ルネサンス・バロック編—」

講師	田尻真理子 (現代文化学部教授) 米沢 (籙木) 陽子 (看護学部教授)
開講日時	6月30日 (土) 14:00開演 (13:30開場)
会場	東京純心大学 (江角記念講堂)
内容	アートは時と所を超え、わたし達をかなたへと誘います。今回ご案内いたしますのは16～18世紀のスペインです。パイプオルガンというとまずバツハ、そしてドイツの音楽が思い浮かぶかもしれませんが、スペインにも素敵な、そして情熱的なオルガン音楽がたくさん残されています。 今回はスペインの美術の数々をご紹介しますながら、同時代に生まれたオルガン音楽をお聴きいただきます。目と耳で味わうスペインへの旅。皆さまのご参加をお待ちいたしております。 賛助出演：Coro Ahirunorgano (合唱)
対象	中学生以上
定員	800名 (先着順)
受講料	無料
持ち物	筆記用具

講師プロフィール

◎田尻真理子

東京藝術大学美術学部博士課程
満期退学専門は哲学・美学・あそび論
崇高論との関わりで、バロック
美術について研究を進めている。

◎米沢 (籙木) 陽子

東京藝術大学大学院博士後期
課程 (古楽科バロックオルガン
専攻) 修了。学位論文『ザムエ
ル・シャイト タブラトゥラ・
ノヴァ研究—その成立過程と鍵
盤音楽史における意義』により
博士号 (音楽) を取得。主たる
研究領域は16-18世紀ドイツのオルガン音楽。カトリック山
手教会、日異教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日
本オルガン研究会、キリスト教礼拝音楽学会、日本音楽学会
会員。東京純心大学看護学部教授。

講師からみなさまへ

スペインのオルガン音楽は、日本ではあまり知られていませ
んが、ドイツともイタリヤとも違う独特の響きの世界があり
ます。哀愁を帯びた旋律、豪快な心踊るリズム。それらは
スペインの歴史や文化、土地柄によって生み出されてきたも
のでしょう。どうぞ同時代のスペイン美術とともに味わってみ
てください。今回は演奏の合間に、田尻教授 (美学) によるスペインの歴史
や文化、そして美術の解説を織り込みながら、プログラムを
進めていきます。どうぞご期待ください。